

用語説明

【あ行】 ○ウエルネス8020（うえるねすはちまるにいまる）

愛知県歯科医師会が、平成28年度から「8020運動」のさらなる発展をめざし、生涯を通じて各世代に応じた歯と口の健康づくりに取り組み、すべてのライフステージの特徴に合わせて対応できる歯科医療・歯科保健を推進している運動です。

○う蝕（うしょく）

「むし歯」のことです。口腔内の細菌が食物中の糖분을栄養にして酸を作り、その酸によって硬い歯が溶かされる病気です。う歯（うし）とも言います。

○永久歯（えいきゅうし）

一般的に言う「おとなの歯」のことです。6歳頃から生え始め、12歳頃に28本の永久歯が生えそろいます。18歳頃に生える親知らずを含めると32本になります。

【か行】 ○健康増進法（けんこうぞうしんほう）

国民の健康の増進の総合的な推進に関し、基本的な事項を定めるとともに、国民の健康の増進を図るための措置を講じ、国民保健の向上を図る目的で、国、地方公共団体とともに、国民に対して健康増進に努める責務を規定しています。また「健康増進計画」の策定を促すための基本方針になるものです。

○健康日本21（けんこうにっぽんにじゅういち）

すべての国民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会をめざし、壮年期死亡の減少、健康寿命の延伸、および生活の質の向上を柱として、平成12年に定められた「21世紀における国民健康づくり運動」のことです。この中で歯の健康について、「歯の喪失の防止は、食物の咀嚼のほか、食事や会話を楽しむ等による、生活の質の確保の基礎となるもの」とされています。

平成24年から第二次計画が始まっています。愛知県では、第二次計画として、平成25年3月に「健康日本21あいち新計画」を策定しています。

○口腔（こうくう）

口からのどまでの空洞部分を言います。

○口腔機能（こうくうきのう）

噛む（咀嚼機能）、食べる（摂食機能）、飲み込む（嚥下機能）、唾液の分泌、口唇の動き、舌の動き、発音・発語（発声機能）など、口腔が担う機能の総称です。

近年、高齢者の身体のわずかな衰え（フレイル）の一つとして、滑舌の低下、食べこぼし、わずかなむせ、かめない食品が増える、口腔の乾燥などの口腔機能の低下が挙げられます。高齢者がこれらの状態に早めに気づき、適切な対応をすることで、介護予防につながると注目されています。

○口腔ケア（こうくうけあ）

口腔衛生の改善のための歯みがき、うがい、義歯の手入れ、舌や口腔粘膜の清掃などのケアに加えて、口腔機能の維持や回復のための嚥下訓練や口腔周囲のマッサージなども含めたケアのことを言います。

○誤嚥（ごえん）

飲み込む機能が十分に働かず、飲み物や食べ物、唾液が誤って気道又は肺に入ってしまうことを言います。多くの場合は「むせ」などを伴いますが、高齢者では寝ている間に「むせ」ない誤嚥が発生しているとされています。

○誤嚥性肺炎（ごえんせいはいえん）

誤嚥によって口腔内の細菌が肺に入り感染が起こる肺炎のことを言います。要介護者や高齢者など、抵抗力が落ちた人は発症のリスクが高いとされています。

【さ行】 ○在宅療養支援歯科診療所（ざいたくりょうようしえんしかしんりょうじょ）

在宅又は社会福祉施設等における療養を歯科医療面から支援する、厚生労働省が求める施設基準が備わっている歯科診療所です。歯科訪問診療の実績、知識を有する歯科医師及び歯科衛生士の配置、在宅医療や多職種との連携体制を有するなどの基準があります。

○歯間部清掃用具（しかんぶせいそうようきぐ）

デンタルフロスや歯間ブラシなど、歯ブラシでは除去が困難な、歯と歯の間や歯肉の境の歯垢を除去するのに効果的な清掃用具です。歯ブラシと併用することにより、歯垢の90%が除去できると報告されています。

○歯垢（しこう）

歯の表面に付着した物質で、細菌とその代謝物からなる塊のことを言います。むし歯や歯周病の原因となります。

○歯周病（ししゅうびょう）

歯肉や歯槽骨などの歯を支える周りの歯周組織で、口腔内の細菌が感染を起こす慢性の病気で、初期の歯肉炎から重度の歯周炎までを含めた総称です。

○歯肉炎・歯周炎（しにくえん・ししゅうえん）

歯肉炎は、歯肉の周縁部に見られる炎症で、歯肉が赤く腫れ、歯みがきをするとき出血します。適切な歯みがき等で多くが改善します。歯周炎は、歯周組織まで広がった炎症で、放置すると歯の喪失につながります。

○咀嚼（そしゃく）

食べ物を噛んで粉砕し、飲み込みやすい状態にすることを言います。

【た行】 ○第一大臼歯（だいいちだいきゅうし）

「6歳臼歯」とも呼ばれます。6歳頃に乳歯の奥に生えてくる永久歯です。小学生の永久歯のう蝕の大半は第一大臼歯であり、8020達成者の多くが第一大臼歯を健全に保っていたという研究報告からも、この歯の保護育成が重要とされています。

○第三大臼歯（だいさんだいきゅうし）

「親知らず」とも呼ばれています。最近では生えない人も増えています。

【な行】 ○乳歯（にゅうし）

一般的に言う「こどもの歯」のことです。生後6か月頃から生え始め、2歳から2歳6か月頃に20本の乳歯が生えそろういます。

【は行】 ○8020運動（はちまるにいまるうんどう）

自分の歯が20本以上あれば食生活に支障がないという愛知県内の研究報告から、80歳でも20本以上の自分の歯を保ち、自分の歯で食べる楽しみを味わい、心豊かに明るく話し、笑える毎日を過ごそうという趣旨の運動です。

○歯の健康づくり得点（はのけんこうづくりとくてん）

愛知学院大学歯学部において開発された、歯の喪失を予測する10の設問項目から得られる得点です。生活習慣や自覚症状をチェックすることにより、歯を喪失しないための改善ポイントを具体的に把握できる簡便さから、個人の行動変容に働きかけることができます。

○一人平均う歯数（ひとりへいきんうしすう）

むし歯（治療してある歯も含む）の一人平均の本数です。むし歯の総本数を受診人数で割った値です。

○不正咬合（ふせいこうごう）

歯並びや噛み合わせが悪い状態のことを言います。出っ歯、受け口、乱ぐい歯など、いろいろな種類があります。骨格などの遺伝、指しゃぶりなどの習癖の影響、口腔機能の獲得不足など、原因も様々です。見た目の問題の他、歯みがきがしにくく、むし歯や歯周病になりやすいとされています。

○フッ化物（ふっかぶつ）

フッ素は、自然界に広く分布している元素で、他の元素と結合したフッ素化合物（フッ化物）の形で存在します。地中や海水、河川、動植物などにも微量ながら含まれています。また、海産物、肉、野菜、お茶などにも含まれている自然環境物質です。適量を作用させることで、初期むし歯の修復を促進するとともに、歯の質を強くし、むし歯菌が産生する酸に対する抵抗力を高める働きがあります。

○フッ化物歯面塗布（ふっかぶつしめんとふ）

フッ化物を含む薬剤を歯の表面に塗布するむし歯予防法です。歯科診療所や市町村保健センターにおいて、歯科医師又は歯科衛生士が実施します。

○フッ化物洗口（ふっかぶつせんこう）

フッ化ナトリウム水溶液でぶくぶくうがいをするむし歯予防法です。自治体の政策として、歯科医師の指示の下、幼稚園・保育所・こども園及び学校で実施されています。かかりつけ歯科医の指導を受け、家庭でも実施できます。

○フッ化物配合歯磨剤（ふっかぶつはいごうはみがきざい）

フッ化物が配合されている歯磨剤を、歯みがきの時に適量使用するむし歯予防法です。効果を高めるため、フッ化物の成分を口腔内に残すよう使用後のうがいを軽くすることが推奨されています。

○フレイル（ふれいる）

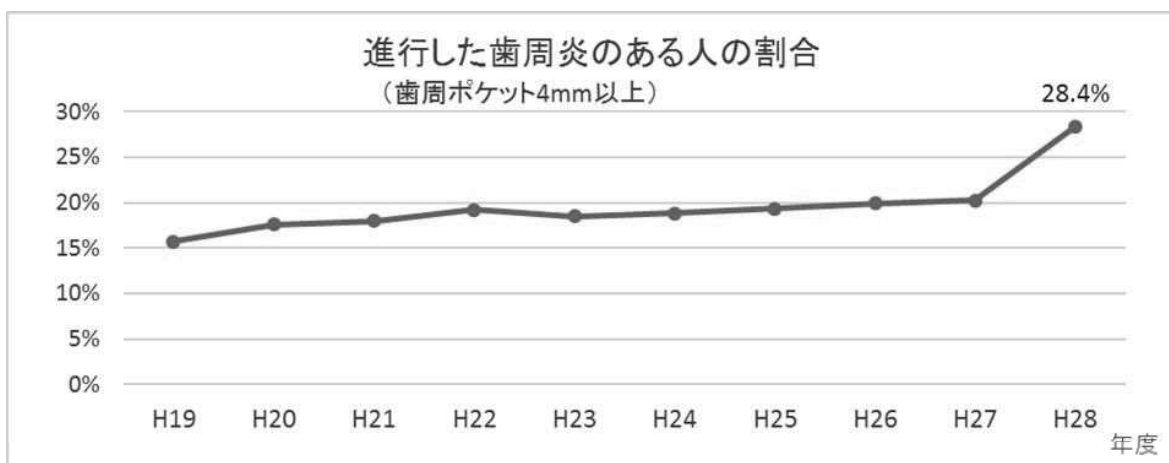
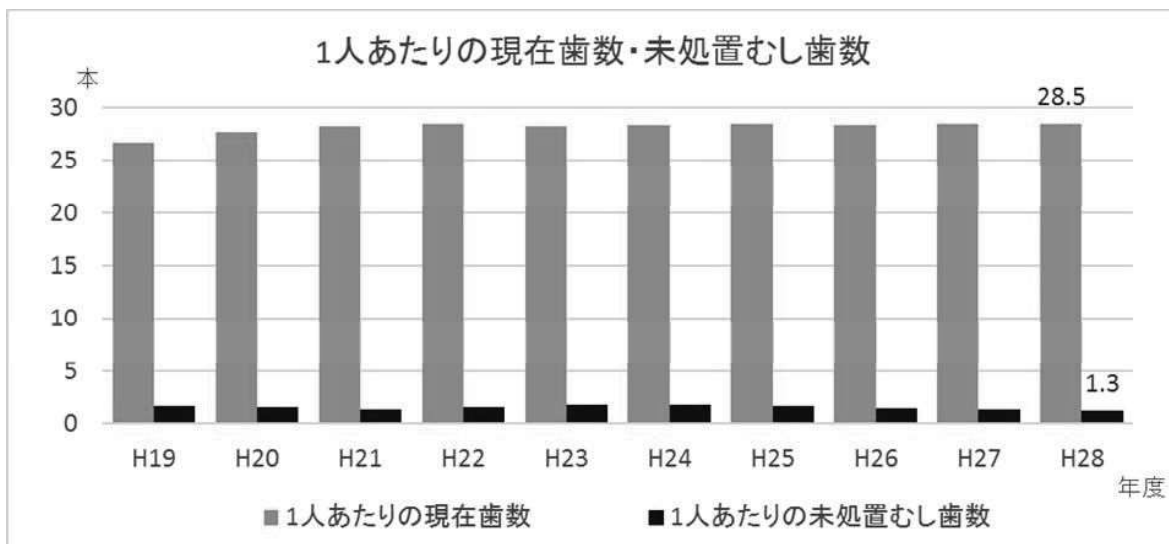
高齢者の身体機能や認知機能が低下して虚弱となった状態を言います。

【ま行】 ○無歯科医地区（むしかいちく）

おおむね半径4km以内に住民50人以上が居住し、容易に歯科医療機関を利用することができない地区のことを言います。

愛知県の歯科口腔保健の状況

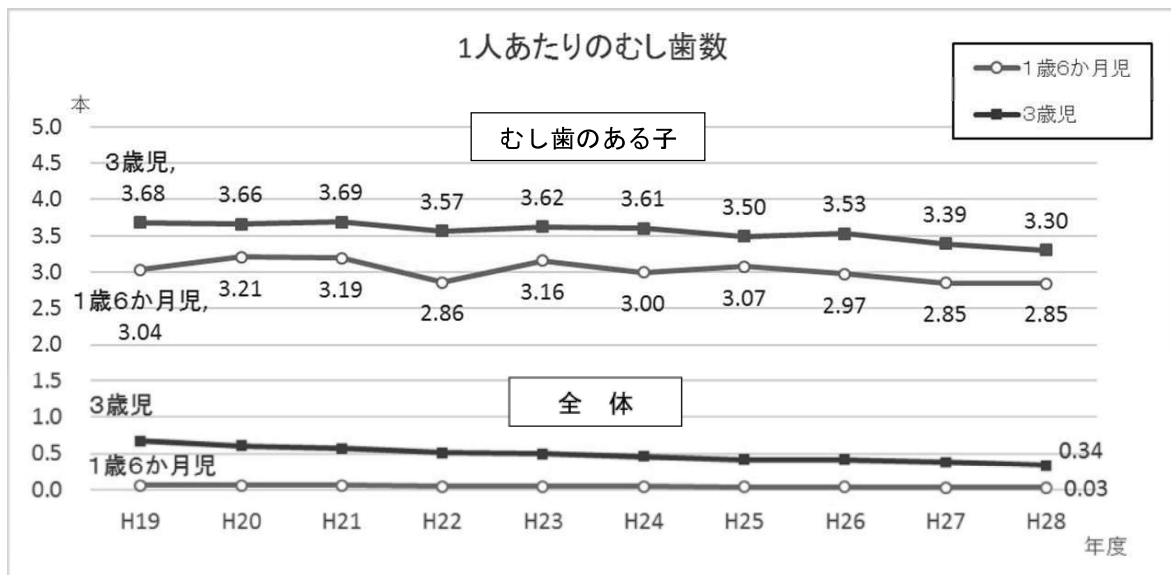
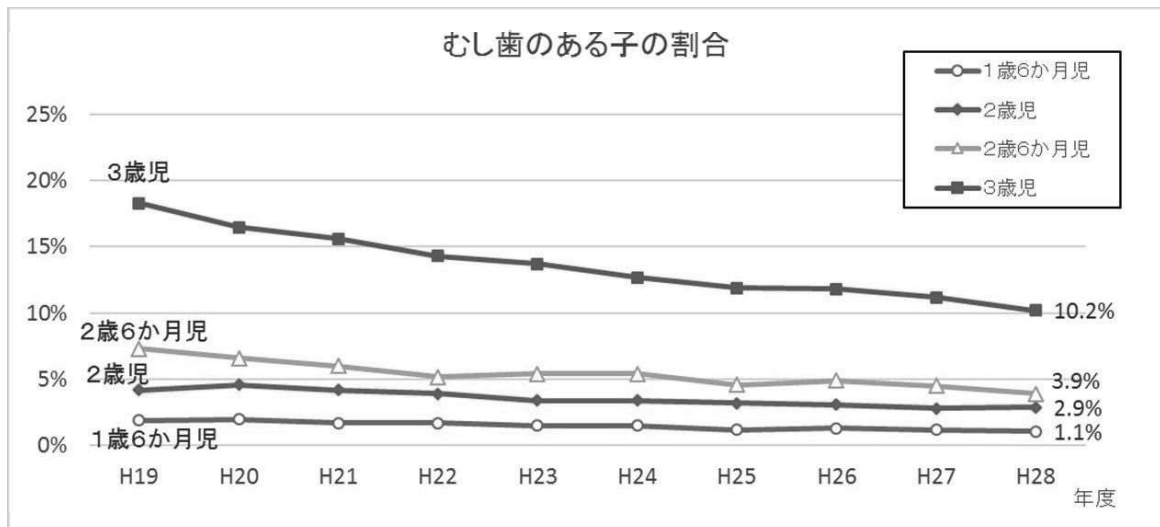
○妊産婦の歯科保健



	1人あたりの 現在歯数	1人あたりの 未処置むし歯数	進行した歯周炎の ある人の割合
平成19年度	26.7	1.7	15.7%
平成20年度	27.7	1.6	17.6%
平成21年度	28.3	1.4	18.0%
平成22年度	28.5	1.6	19.2%
平成23年度	28.3	1.8	18.5%
平成24年度	28.4	1.8	18.8%
平成25年度	28.5	1.7	19.3%
平成26年度	28.4	1.5	19.9%
平成27年度	28.5	1.4	20.2%
平成28年度	28.5	1.3	28.4%

資料：愛知県地域歯科保健業務状況報告

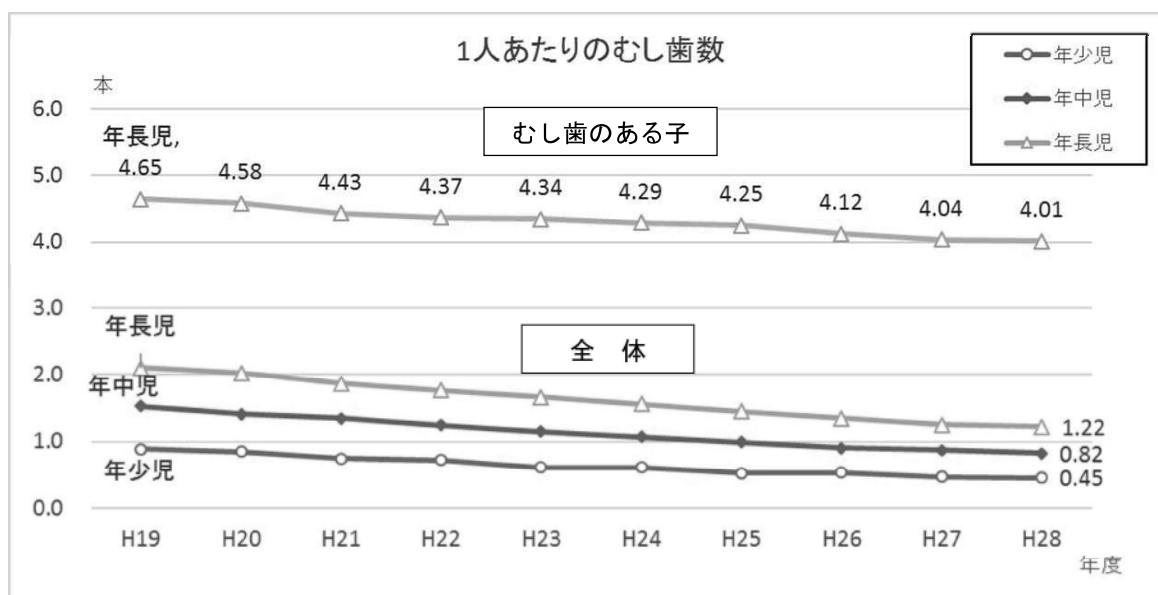
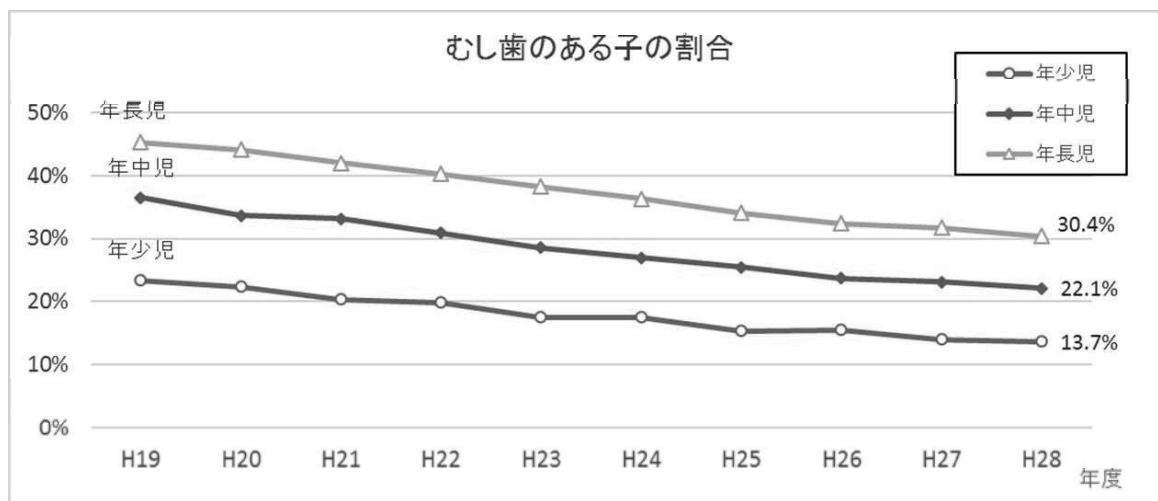
○幼児の歯科保健（1歳6か月児～3歳児）



	むし歯のある子の割合				1人あたりのむし歯数			
	1歳6か月児	2歳児	2歳6か月児	3歳児	1歳6か月児	2歳児	2歳6か月児	3歳児
平成19年度	1.9%	4.2%	7.3%	18.3%	0.06	0.12	0.22	0.67
平成20年度	2.0%	4.6%	6.6%	16.5%	0.06	0.14	0.20	0.60
平成21年度	1.7%	4.2%	6.0%	15.6%	0.06	0.12	0.17	0.57
平成22年度	1.7%	3.9%	5.2%	14.3%	0.05	0.11	0.15	0.51
平成23年度	1.5%	3.4%	5.4%	13.7%	0.05	0.10	0.15	0.50
平成24年度	1.5%	3.4%	5.4%	12.7%	0.05	0.10	0.15	0.46
平成25年度	1.2%	3.2%	4.6%	11.9%	0.04	0.10	0.15	0.42
平成26年度	1.3%	3.1%	4.9%	11.8%	0.04	0.09	0.13	0.42
平成27年度	1.2%	2.8%	4.5%	11.2%	0.03	0.08	0.13	0.38
平成28年度	1.1%	2.9%	3.9%	10.2%	0.03	0.09	0.11	0.34

資料：愛知県幼児歯科健康診査実施状況報告、愛知県地域歯科保健業務状況報告

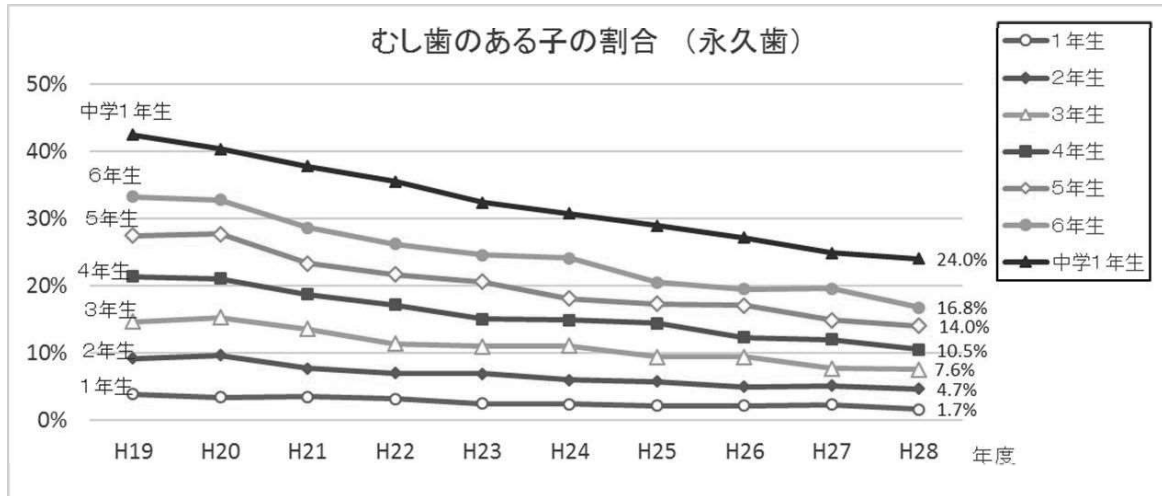
○幼稚園・保育所・こども園児の歯科保健



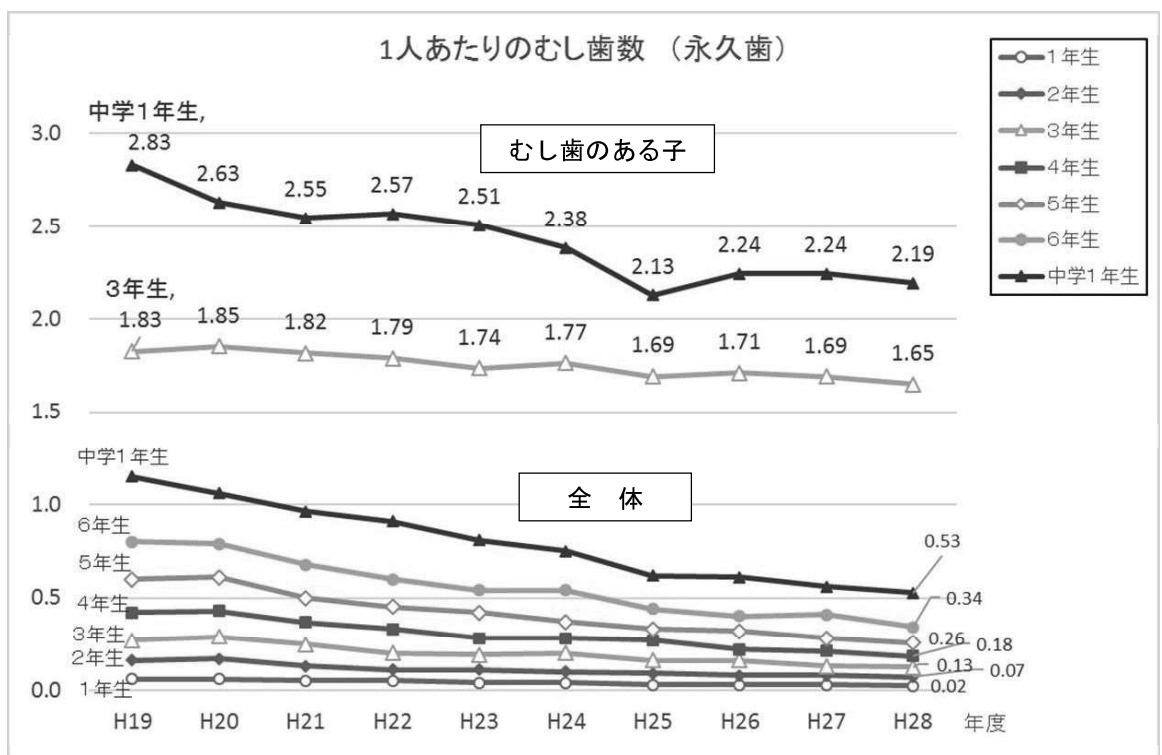
	むし歯のある子の割合			1人あたりのむし歯数		
	年少児	年中児	年長児	年少児	年中児	年長児
平成19年度	23.4%	36.5%	45.3%	0.89	1.52	2.11
平成20年度	22.4%	33.7%	44.1%	0.85	1.41	2.02
平成21年度	20.4%	33.1%	42.1%	0.74	1.35	1.86
平成22年度	19.9%	30.9%	40.3%	0.72	1.24	1.76
平成23年度	17.5%	28.6%	38.3%	0.61	1.15	1.66
平成24年度	17.5%	27.0%	36.3%	0.61	1.07	1.56
平成25年度	15.4%	25.5%	34.1%	0.52	0.99	1.45
平成26年度	15.5%	23.7%	32.4%	0.53	0.90	1.34
平成27年度	14.0%	23.1%	31.7%	0.47	0.87	1.25
平成28年度	13.7%	22.1%	30.4%	0.45	0.82	1.22

資料：愛知県地域歯科保健業務状況報告

○小学生・中学生の歯科保健

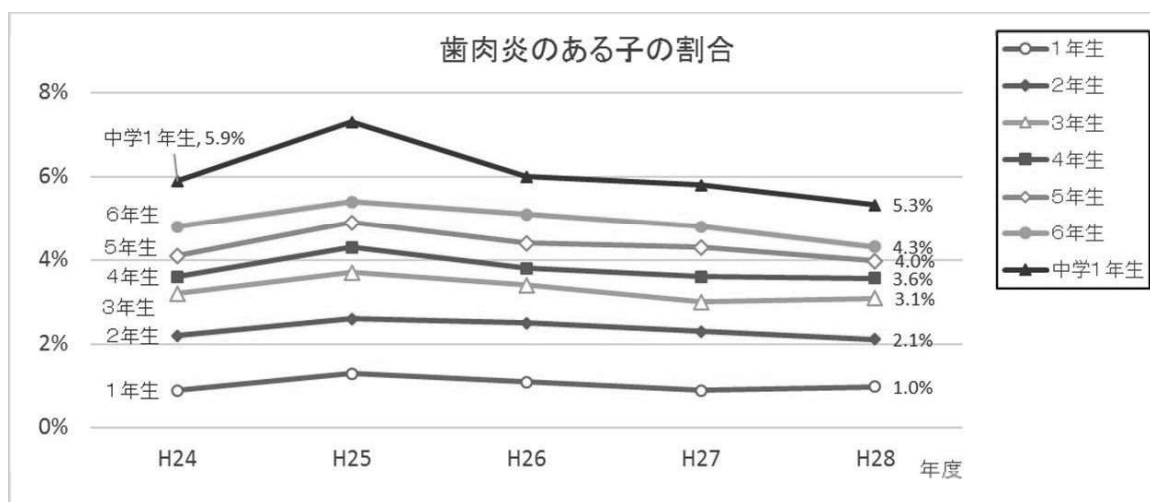


	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	中学1年生
平成19年度	3.9%	9.2%	14.7%	21.4%	27.5%	33.3%	42.5%
平成20年度	3.4%	9.7%	15.3%	21.1%	27.7%	32.8%	40.4%
平成21年度	3.5%	7.7%	13.5%	18.7%	23.3%	28.7%	37.8%
平成22年度	3.2%	7.0%	11.4%	17.2%	21.7%	26.2%	35.5%
平成23年度	2.5%	6.9%	11.0%	15.1%	20.6%	24.6%	32.4%
平成24年度	2.4%	6.0%	11.1%	14.9%	18.1%	24.1%	30.8%
平成25年度	2.2%	5.8%	9.4%	14.4%	17.3%	20.5%	29.0%
平成26年度	2.2%	5.0%	9.4%	12.3%	17.1%	19.5%	27.2%
平成27年度	2.3%	5.1%	7.7%	12.0%	14.9%	19.6%	24.9%
平成28年度	1.7%	4.7%	7.6%	10.5%	14.0%	16.8%	24.0%



資料4 愛知県の歯科保健の状況

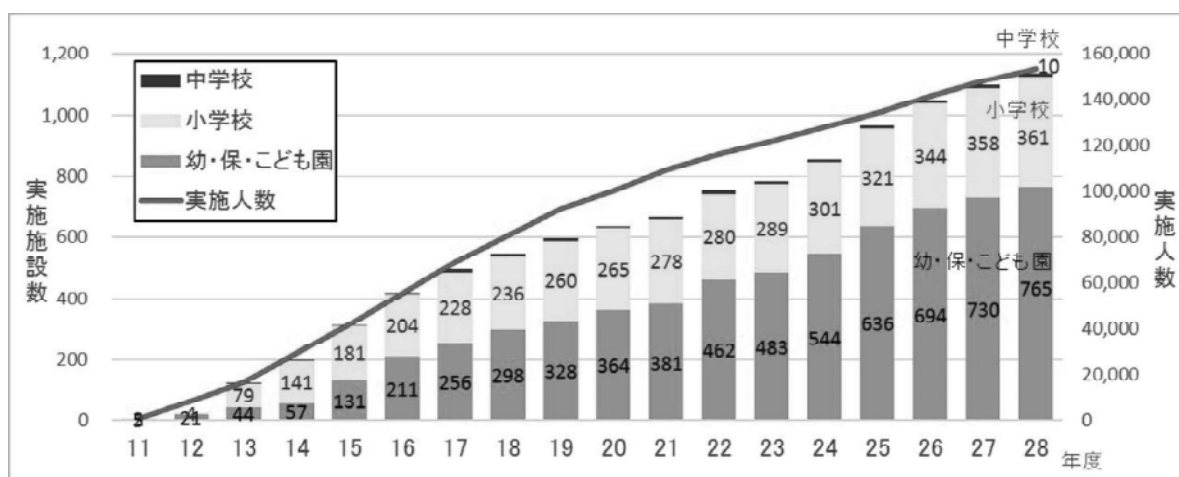
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	中学1年生
平成19年度	0.06	0.16	0.27	0.42	0.60	0.80	1.15
平成20年度	0.06	0.17	0.29	0.43	0.61	0.79	1.06
平成21年度	0.05	0.13	0.25	0.37	0.50	0.68	0.96
平成22年度	0.05	0.11	0.20	0.33	0.45	0.60	0.91
平成23年度	0.04	0.11	0.19	0.28	0.42	0.54	0.81
平成24年度	0.04	0.10	0.20	0.28	0.37	0.54	0.75
平成25年度	0.03	0.09	0.16	0.27	0.33	0.44	0.62
平成26年度	0.03	0.08	0.16	0.22	0.32	0.40	0.61
平成27年度	0.03	0.08	0.13	0.21	0.28	0.41	0.56
平成28年度	0.02	0.07	0.13	0.18	0.26	0.34	0.53



	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	中学1年生
平成24年度	0.9%	2.2%	3.2%	3.6%	4.1%	4.8%	5.9%
平成25年度	1.3%	2.6%	3.7%	4.3%	4.9%	5.4%	7.3%
平成26年度	1.1%	2.5%	3.4%	3.8%	4.4%	5.1%	6.0%
平成27年度	0.9%	2.3%	3.0%	3.6%	4.3%	4.8%	5.8%
平成28年度	1.0%	2.1%	3.1%	3.6%	4.0%	4.3%	5.3%

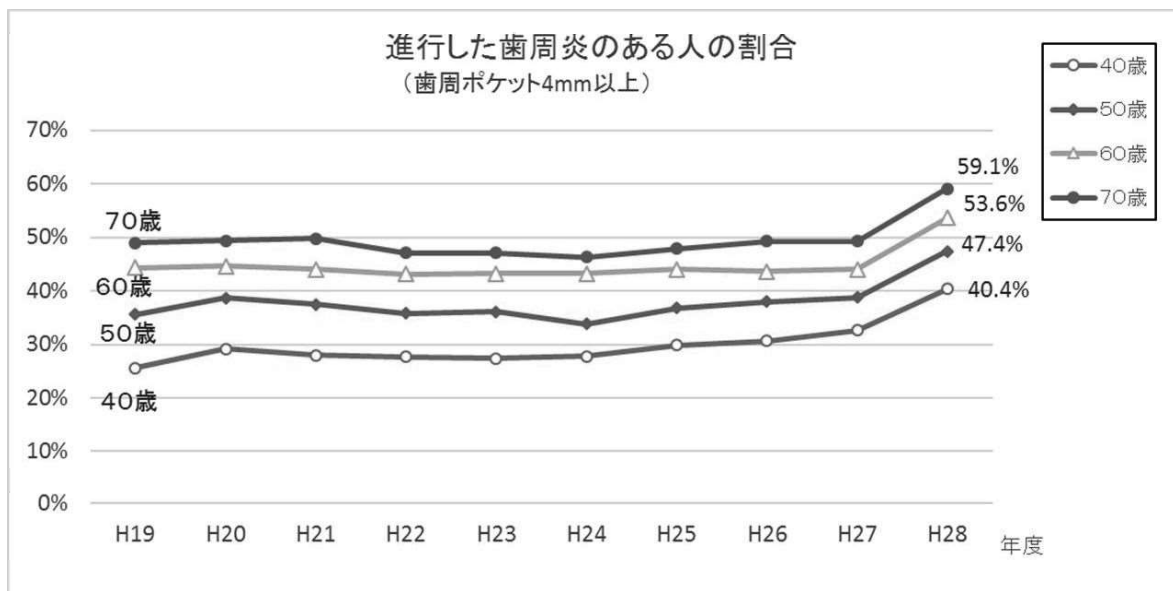
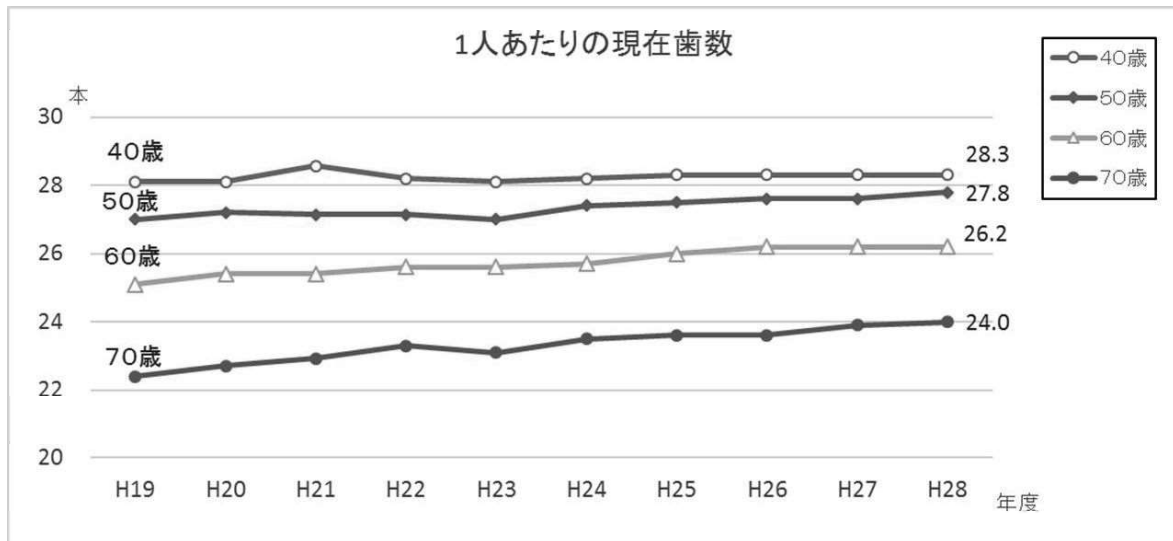
資料：愛知県地域歯科保健業務状況報告

○フッ化物洗口の実施状況（幼稚園・保育所・こども園・小学校・中学校）



資料：愛知県う蝕対策支援事業実施報告、地域歯科保健活動支援事業実施報告（平成28年度～）

○成人の歯科保健（歯周病検診：40歳・50歳・60歳・70歳）



	1人あたりの現在歯数				進行した歯周炎のある人の割合			
	40歳	50歳	60歳	70歳	40歳	50歳	60歳	70歳
平成19年度	28.1	27.0	25.1	22.4	25.6%	35.6%	44.3%	49.0%
平成20年度	28.1	27.2	25.4	22.7	29.2%	38.7%	44.6%	49.4%
平成21年度	28.6	27.1	25.4	22.9	28.0%	37.5%	44.0%	49.8%
平成22年度	28.2	27.1	25.6	23.3	27.7%	35.8%	43.1%	47.1%
平成23年度	28.1	27.0	25.6	23.1	27.4%	36.1%	43.2%	47.1%
平成24年度	28.2	27.4	25.7	23.5	27.8%	33.8%	43.2%	46.3%
平成25年度	28.3	27.5	26.0	23.6	29.9%	36.8%	44.0%	47.9%
平成26年度	28.3	27.6	26.2	23.6	30.6%	38.0%	43.6%	49.3%
平成27年度	28.3	27.6	26.2	23.9	32.6%	38.8%	44.0%	49.3%
平成28年度	28.3	27.8	26.2	24.0	40.4%	47.4%	53.6%	59.1%

資料：愛知県歯周疾患検診実施状況報告